

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年3月7日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		2月の価格動向				生育及び価格の3月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額			
			上旬	中旬	下旬	
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	122	118	111	・入荷見込量：16,674t (100) ・主産地：愛知 (68)、千葉 (15)、神奈川 (14) ・愛知産は気温の上昇、降雨により生育が回復し、玉肥大も良く前年並みの順調な出荷となっている。今後も順調な出荷が続く見込み。千葉産も順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		79.74	127	136	117	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	229.99	264	333	306	・入荷見込数量：4,515t (102) ・主産地：千葉 (44)、埼玉 (30)、茨城 (9)、輸入 (6) ・生育期間が長いことから、これまでの異常気象の影響が残っている。千葉産は降雨により生育が回復傾向にあるものの、すぐには回復せず、前年の出荷量を下回る見込み。埼玉産は出荷量は回復傾向だが、前年の出荷量には届かない見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。
		450.51	479	556	461	
	はくさい	64.34	55	74	67	・入荷見込量：8,815t (102) ・主産地：茨城 (54)、兵庫 (30)、群馬 (11) ・茨城産の秋冬はくさいは、切り上がりが平年より早まる見込み。兵庫産は順調な出荷の見込み。茨城産の春はくさいは、順調な生育。 ・出荷量が平年並みと見込まれるので、価格は平年並みで推移する見込み。
		76.33	67	82	79	
	ほうれんそう	307.66	501	428	343	・入荷見込量：1,661t (103) ・主産地：茨城 (29)、群馬 (25)、千葉 (19) 埼玉 (19) ・茨城産・群馬産ともに順調な出荷となっている。 ・順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		341.25	555	478	357	
	レタス	259.83	321	275	215	・入荷見込量：7,727t (96) ・主産地：茨城 (40)、静岡 (17)、香川 (13)、兵庫 (8)、栃木 (6) ・茨城産は1月の低温・少雨の影響により遅れていたものの生育が回復し潤沢な出荷となっている。静岡産も降雨、気温の上昇により、出荷量が回復し、前年並みの出荷の見込み。 ・潤沢な出荷量が見込まれることから、価格は平年をやや下回って推移する見込み。
		238.68	312	295	243	
	たまねぎ	76.15	148	146	144	・入荷見込量：9,285t (95) ・主産地：北海道 (61)、輸入 (21) 静岡 (16) ・北海道産は小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。静岡産は小玉傾向だが、今後降雨により玉の肥大が進み出荷量は増加する見込み。 ・北海道産が不作であることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		76.15	145	145	149	
果 菜	きゅうり	370.98	323	321	318	・入荷見込量：5,860t (101) ・主産地：群馬 (20)、千葉 (19)、埼玉 (18)、宮崎 (14)、茨城 (13) ・群馬産は潤沢な出荷となっていたが、今後は成り疲れにより減少する見込み。千葉産は順調な出荷の見込み。 ・群馬産が少なめと見込まれるものの、他産地の出荷は順調であり、平年並みに推移する見込み。
		350.33	315	305	312	
	トマト	332.6	355	366	388	・入荷見込量：5,498t (100) ・主産地：熊本 (24)、栃木 (20)、愛知 (10)、茨城 (9)、千葉 (5)、群馬 (5)、埼玉 (5)、福岡 (5) ・熊本産は小玉傾向ながら、生育は良好で前年並みの出荷となっている。今後の気温の上昇とともに、出荷量が増加する見込み。栃木産も順調な生育が見込まれ、今後の気温の上昇とともに潤沢な出荷となる見込み。 ・価格は、平年並みに推移する見込み。
		311.06	335	356	382	
	なす	389.03	373	370	385	・入荷見込量：2,652 (102) ・主産地：高知 (58)、福岡 (16)、佐賀 (6) ・高知産は最近の冷え込みや曇天の影響により、若干少なめの出荷量となっており、中下旬と見込んでいた出荷のピークが下旬以降になる見込み。福岡産は1月の低温と日照不足の影響から、少なめの出荷量となっていたが回復傾向となり、平年並みの出荷となる見込み。 ・出荷量が回復傾向と見込まれることから、平年並みで推移する見込み。
		397.74	369	371	379	
	ピーマン	501.13	669	611	620	・入荷見込量：1,458t (100) ・主産地：茨城 (41)、宮崎 (29)、高知 (18)、鹿児島 (12) ・茨城産は1月の低温の影響で肥大不足がみられたが、気温の上昇とともに順調な出荷の見込み。宮崎産は平年並みの出荷となっている。 ・出荷量が回復傾向と見込まれることから、価格は高めながら平年並みに近づく見込み。
		467.19	657	609	585	
根 菜	だいこん	83.19	80	94	73	・入荷見込量：12,557t (100) ・主産地：神奈川 (61)、千葉 (36)、 ・神奈川産は降雨で生育が回復傾向となり、平年並みの出荷量の見込み。切り上がり時期も平年並みの4月上旬と見込む。千葉産も降雨で生育が順調となり、前年を上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		84.7	81	92	76	
	にんじん	96.24	151	170	158	・入荷見込量：7,411t (92) ・主産地：千葉 (58)、徳島 (23)、埼玉 (9)、輸入 (3) ・千葉産は少なめの出荷量で、平年より早めの切り上がりの見込み。徳島産は順調な出荷で前年より1割多い出荷量の見込み。 ・千葉産の出荷量が少ないと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		104.73	130	146	150	

種類		2月の価格動向				生育及び価格の3月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均 販売価額				
			上旬	中旬	下旬		
い も	さといも	217.95	279	297	300	・ 埼玉産は夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下回る見込み。 ・ 価格はやや高めで推移する見込み。	
		219.65	345	327	341		
	ばれいしょ	88.17	147	150	151		・ 北海道産は夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量は少なかった前年を下回る見込み。鹿児島産は低温・降雨の影響で、生育が1～2週間遅れており、平年を下回る見込み。 ・ 価格は、引き続き平年より高めで推移する見込み。
		88.17	137	134	135		
1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。 2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック						1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといも(近畿)は前年実績。 2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。 3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。	

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,310gで対前年比102%、購入金額は、1,573円で同101%となり、購入量、購入金額ともにほぼ前年並みとなっている。 また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は235円で過去5年平均比136%、レタスは694円で同140%となり、キャベツ、レタスともに前年を上回っている。	1 生鮮野菜の購入量及び金額	(1人当たりの購入量、金額)		2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
	年 過去5か年平均 平成22年 平成23年		(単位：円/kg)	
月 購入量(g) 金額(円) 購入量(g) 金額(円) 購入量(g) 前年比 金額(円) 前年比		キャベツ		レタス
1月 4,189 1,529 4,240 1,551 4,310 102 1,573 101		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
2月 4,391 1,544 4,461 1,574 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
3月 4,767 1,695 4,970 1,768 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
4月 4,732 1,808 4,518 1,884 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
5月 5,094 1,902 4,925 1,965 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
6月 5,033 1,880 5,026 1,907 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
7月 4,438 1,683 4,264 1,697 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
8月 4,272 1,732 4,241 1,733 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
9月 4,868 1,806 4,606 1,818 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
10月 5,314 1,849 4,994 1,959 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
11月 4,997 1,614 4,678 1,774 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
12月 5,212 1,817 5,177 1,887 0 0		過去5カ年平均	平成23年	5カ年比(%)
資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」		注1：過去5カ年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均		注2：2月の値は、2月中旬の速報値
		資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」		

3 野菜の輸入動向

平成23年1月の輸入量を貿易統計でみると、生鮮野菜は前年比140%の8万トン、輸入野菜全体では、同128%の23万トン、うち中国産は同132%の12万トンとなり、引き続き前年を上回っている。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1月～1月	
		前年比		前年比		前年同期比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	76,760	140
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	157,905	122
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	234,665	128
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	121,812	132
中国産シェア	50		51		52	

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.2	(B)2011.2	(B)/(A)
たまねぎ	合計	27,857	25,451	91
	中国	13,444	13,229	98
	米国	9,759	9,919	102
にんじん	合計	1,181	3,298	279
	中国	923	2,974	322
	台湾	171	247	144
ねぎ	合計	3,244	3,027	93
	中国	3,242	3,026	93

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.2）は、2月第3週までの速報値である。

4 トピック

にんじんの需給動向について にんじんの価格高騰が続いている。これは、冬にんじん主産地である千葉県が昨年、播種時期の夏の少雨の影響を受け、発芽不良や生育遅れ、10月の日照不足の影響も受け、平年より少なめの出荷量となっていることが大きく影響している。 3月にはにんじんの主産地が千葉県から徳島産への切り替わりの時期であり、今後の入荷見通しから価格を予測すると、上旬は千葉県が少なめの出荷量との見込みから現状よりやや高め、中旬は後続の徳島産の順調な生育に基づき入荷量の増加により現状より1割程度下落、下旬は千葉県が平年より早めの切り上がりを迎えることから、やや高めと予測される。 4月は、徳島産が主産地になることから、価格は高めながら落ち着いてくるものと思われる。	にんじんの卸売数量と価格の推移 (23.2.1～) 東京都中央卸売市場	◎にんじん主産地の生育ステージ
資料：ペジ探、(原資料) 農水省「青果物日別取扱高統計結果」		
注) 3月の入荷見込数量は、機構調べ。		